

Title	<新研究醸成支援プログラム>研究集会 2) 「次世代超高層大気研究検討会：新規衛星計画にむけたブレーンストーミング」
Author(s)	山本, 衛
Citation	生存圏研究 (2014), 10: 51-51
Issue Date	2014-11-20
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/196722">http://hdl.handle.net/2433/196722</a>
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

## 2) 次世代超高層大気研究検討会 ～新規衛星計画にむけたブレインストーミング～

山本 衛（京都大学・生存圏研究所）

### 1. 研究組織

代表者氏名：斎藤 昭則（京都大学・理学研究科）

（生存圏研究所担当者：山本衛）

### 2. 新領域開拓のキーワードと関連ミッション

新研究醸成支援プログラム

ミッション1：環境計測・地球再生

ミッション3：宇宙環境・利用

### 3. 目的と具体的な内容

本研究集会は、地球電磁気・地球惑星研学会（SGEPSS）の分科会である中間圏・熱圏・電離圏（MTI）研究会を中心とする日本の超高層大気研究分野の若手・中堅研究者が集まり、新規衛星計画を中心としたブレインストーミングを行って、次世代超高層大気研究の長期計画立案の端緒を開く事を目的として、平成26年2月14日に京都大学東京オフィスにて開催された。

研究集会では、国内外で現在運用・計画中の中・大型衛星ミッションのレビュー、計画されている小型・超小型衛星についての現状紹介や実現可能性、これらの衛星計画を利用したサイエンスターゲットについて講演が行われた。その後のブレインストーミングでは、100ー300kmをカバーする極軌道衛星や大気光・オーロラ撮像衛星、マイクロ衛星による多点電離圏・磁気圏観測などの具体的なアイディアが出され、衛星観測実現までのスケジュールや戦略なども含めて活発に議論された。